



四の五の健康日誌

- インスピレーションになる
《第 2530 地区活動目標》
1. 会員基盤の維持と強化
 2. POLIO撲滅への取り組みと支援
 3. TAKE ACTION- みんなで行動を起こしましょう
 4. RI 戦略計画と中核的価値観の理解と実践
 5. 公共イメージの向上
 6. 全クラブでロータリー賞に挑戦しよう
 7. 研修制度の充実
 8. ロータリー財団への理解と活用
 9. 米山記念奨学会への協力

飯坂ロータリークラブ 週報

創立 昭和 33 年 (1958) 5 月 5 日
 ガバナー 平井 義 郎
 ガバナー補佐 渡 邊 武
 会 長 吾 妻 一 夫
 幹 事 村 上 裕 司

2018~2019 年度 ◆ 例会日/木曜日 12:30 ◆ 例会場/かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋
 RI 会長 パリー・ラシン 事務局/〒960-0282 福島市飯坂町湯野字新湯 6 (吉川屋内) ☎(024)542-2226 Fax(024)542-3604
 イーストナッソーロータリークラブ(バハマ)

通 算

第 36 回 [2957] 例会報告 平成 31 年 (2019) 4 月 11 日 (木)

出席委員会報告

会員総数	39 名
出席会員	29 名
欠席会員	10 名
出席率	74.36%

言行は此れに照らしてから 四つのテスト

1. 真実 か どうか
2. みんなに 公平か
3. 好意と 友情を 深めるか
4. みんなの為になるかどうか

- ◆ 開 会 点 鐘 吾妻一夫 会長
- ◆ ロータリーソング [我等の生業] 松崎義将 会員
- ◆ 四つのテストの唱和 斎藤孝裕 職業奉仕委員長

◆ お客様紹介 地区学友・平和フェロウシップ委員会委員長 鈴木美恵子 様
 福島グローバル RC 【翻訳業・通訳・英才教育】
 アリソン ウェセル さん

《佐藤真也会員よりお願い》
 4月21日(土)に花ももの里まつりを開催いたします。
 皆様、ぜひお越しください!

◆ 会長あいさつ



今日はお足元の悪いところ、大勢の会員の皆様にお集まりいただきましてありがとうございます。また、福島グローバルクラブの鈴木さん、そして、アリソン ウェセルさんをお迎えての今日の例会となっております。私の好きな演歌歌手で三門忠司という方がおります。その方が歌っている歌の中で「石が浮かんで木の葉が沈む」という歌詞があります。色々な会合で出ておられますと、自分の意見とは全く違う意見が賛成されたり、そんな事が度々あるのはこれかと、石が浮かぶはずはないのですが、木の葉が沈むというのはこういう事なのかなと、痛切に感じている今日この頃です。しかし、やはり一本筋を通して世の中を「清く正しく美しく」生きている者にとってはなかなか生かすまい今日この頃だと感じております。

【 地区学友・平和フェロウシップ委員長 鈴木美恵子 様 】

この学友・平和フェロウシップはロータリーの奨学生の一つです。平和に関する事を研究し、世界の大学(日本では国際キリスト教大学)で学んだ後に平和に関する仕事、研究をして参ります。今日はその平和フェロウシップであったアリソンさんをお連れいたしました。飯坂クラブの皆様にはいつも大変ご協力をしていただき感謝しております。

飯坂クラブは素晴らしいクラブだという評判があります。それは、英語のALTの先生方に「農業体験をさせていただいたり、けんか祭りにご招待いただきお食事や温泉にも入れていただいて、こんなに至れり尽せりのクラブは無いとみんな言っております。改めまして、皆様に感謝申し上げたいと思います。それでは、アリソンのスピーチに移らせていただきます。宜しくお願いいたします。



【 地区学友・平和フェロウシップ アリソン ウェセル様 】

2011年にロータリーの平和フェロウシップのために日本に来ました。平和フェロウシップの学生として勉強した時には放射能の影響や地震もありとても大変でした。私は新地町に入りまして、新地町が大好きになりました。自然にホストファミリーができてお世話して下さり、相馬野馬追の馬に乗って地域の人たちと交流する事も、とても素晴らしい時間を過ごしました。福島は私にとってとても大切な場所になり、色々な所で写真の発表をさせていただいたり、ロータリーの友では原稿や写真を載せていただきました。震災後に地域の方々が自分の歴史、心の歴史を表現していくという写真のワークショップを行い、それが博士号の研究論文になりました。私はこれから大学で教える事になりますが、特に大規模な災害などがあつた時に、そういう中でのコミュニケーション、繋がりを研究テーマにしております。福島全体に研究対象を広げ資料を集めるために今回伺いました。皆様方の震災後の地域との繋がり、さらに避難をされてきた方とのコミュニケーションについて焦点を絞り、情報を集めたいと思っております。研究を進めるにあたり、皆様の会社の従業員の方、各年代の方にアンケートをお願いいたします。お手数をお掛けいたしますが宜しくお願いいたします。ありがとうございます。

◆ 2019-2020 年度委員会名簿報告 千葉政行 会長エレクト

お手元にこの前、理事会でご承認いただきました名簿を出ささせていただきました。皆様のご協力をお願いしたいと思います。地区協議会が始まりますので、参加していただく方も出て参ります。参加できない方は委員の方へ参加要請をお願いいたします。このスタッフで7月から一年間スタートして参りますので宜しくお願いいたします。



◆ 幹事報告 村上裕司 幹事

A. 来 信

① ガバナーエレクト 芳賀 裕 氏より「2019-2020 年度地区研修・協議会の案内」 とき、5月18日(土) ところ、パルセいいざか

② 県北第一分区第二分区合同新会員オリエンテーション決算書

B. メーキャップ報告 4/6 地区行事 佐藤喜市郎 会員

◆ スマイルBOX 中島定宏 副委員長 【合計3-24】

- 吾妻 一夫 会員 H マリソン ウェセルさんをお迎えて 篠木さんスピーチ宜しくお願い致します。
- 堀切 孝敏 会員 H 鈴木牧子さん、篠木勝司さんのスピーチありがとうございます。 前々前回欠席おわび
- 安斎 忠作 会員 S 篠木さんのスピーチ楽しみにしています。
- 佐藤喜市郎 会員 S ゲストにグローバルロータリークラブ鈴木さん、アリソン ウェセルさんをお迎えて
- 西山 友幸 会員 S 篠木さん スピーチ楽しみにです。宜しくお願いします。
- 中島 定宏 会員 S たびたびの欠席おわび
- 千葉 政行 会員 T 篠木会員のスピーチ楽しみにしています。・4、14(日)とうほうスタジアムでユナイテッドホーム初戦です。スタジアムに来て下さい。



令和元年がまもなく始まります。新しい年号に夢や期待がありますが、その中で、これからのロータリークラブは、どのようなロータリークラブに進んでいくのか、いくべきなのか、ロータリーの発祥の原点の時代も含め、私の経験も交えてお話しをしてみたいと思います。

私がロータリーに入会して40年になります。ロータリークラブには大変お世話になり、私の成長を支え教えてくれた世界がこの偉大なるロータリークラブであります。私の大先輩に『篠木君、ロータリーは教え込まれるものではない。それを考える所なんだ』と言われました。ロータリーに携わり、長きにわたり委員会や研究会に参加し、第2530地区の三つの委員会等の委員長を仰せつかり、県下から集まる頭脳明晰な委員と議論し・・・時には恥をかき大変勉強させていただきました。また、半面尊敬する立派な経営者とも対等にお付き合いできる友達ができ、誇りを持てる人生であったと思います。また、クラブ先輩と共にロータリーの規範に準じ、会の運営、後輩の育成に微力ながら関わってきた想いも致します。これはロータリアンであれば皆さんも必ず歩む道でしょう。

30年40年過ぎて今なおロータリーの奥深い真髓を簡単に表す事は出来ませんが、長い経験から頭の中にある漠然たるイメージを今回は字として表してみました。それが今回のタイトルです。

ロータリーの気品についてお話しをしてみたいと思いますがロータリーの気品とは、経営者として多様な経歴と相まって良識と奉仕の知性を際立たせ、そして、謙虚と品位を重視する集団、それがロータリーであり、その姿がロータリーの気品でもあると思います。私たちはロータリアンとして何を求められるのか。経営のトップリーダーとして、社員、部下との関係、お得意様との取引の関係など、公平に良識的にそれを乗り越えていかなければならないのが我々経営のリーダー像でありロータリアンの姿ではなからうかと思えます。ロータリアンとして過ごす中で、一般の人たちよりも奉仕について考えていかなければならないのも一つの使命と思えます。その中で謙虚さと品位を重視し、謙虚な姿で自分の会社を経営していく、社員に対しても誰に対してもそういう姿で接していく、それがロータリアンであり、ロータリーの気品に現れてくるものであると思います。全会員がこれを遵守し、そして、啓蒙しながら務めていくのがロータリアンの使命であると言えます。まさに我がクラブが例えて復唱している『4つのテスト』の思想にも表れていると思えます。

職業奉仕の原点の探求については、大変興味深いアプローチがあります。それは「シカゴの暗黒街」との背景です。次頁の資料は、2011年度の第2530地区の職業奉仕委員長として郡山で講演を行った時の資料です。職業奉仕の原点はシカゴのマフィア時代に遡ります。職業奉仕の理念が当時どの様にして生まれたのか、また、経営の中でどのようにしてロータリーの職業奉仕の理念を実践に移されたかについてお話しをしたいと思います。職業奉仕は難しいものと思われがちですが、決してそうではありません。職業奉仕の実践とは企業経営の方法、即ち私たちの毎日の職業生活に他なりません。職業奉仕はアーサー・FLD・シェルドンが、1902年にビジネス・スクールで20世紀の経営学の基本理念として教えていた考え方を、後年そのままロータリーが受け入れて、ロータリーの奉仕の理念として提唱したものであります。

自分の商売において儲けを優先するのではなく自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営めば結果として継続的な事業の発展が得られるという独自の思考です。我々が商売をしている中で、継続的に商売が繁栄すれば、それはお客様のため、人々のためになるのだという考えです。この考え方を「職業奉仕」と呼んでいます。

シェルドンの職業奉仕の理念をお話する前に当時のアメリカ社会の情勢や時代背景をお話しておかなければなりません。シカゴは「暗黒のシカゴ」と呼ばれた時代がありました。アルカポネが一番勢力を増したのが禁酒時代(1920年～1933年)です。ロータリーがシカゴで始まったのが1905年で、まさに禁酒時代に入る前です。暗黒のシカゴとなぜ呼ばれたのか、当時シカゴは急激に人口が増え、[シカゴの人口増加値 1870年頃300万都市、1880年頃500万都市、1900年頃1,700万都市] 世界でも指折りの大都市に急激に進んでいきました。このような人口増によって、警察や行政が麻痺し、そこに禁酒時代となったため、密輸が横行し、その利益を狙い、マフィアが台頭してきました。警察も弱体化し賄賂が蔓延化します。資本主義のもっとも醜い面をさらけ出した無秩序な自由競争の下では、同業者は全てライバルであり、法さえ犯さなければ金を儲けた者が成功者としてもはやされました。後ろめいた気持ちがあれば僅かばかりのチャリティー(アフリカ文化のチャリティーはこの辺からの文化なのだろうか)をすれば周囲の人々は納得しました。騙すより、騙されるほうが悪いという風潮がまかり通り、誇大広告、虚偽広告はあたり前でした。

こんな状況の中でロータリークラブが創立されたわけですから、当初、会員は何事でも胸襟を開いて話し合い、また、信用と友情を培う事が目的となり、各々が違う職業である事(ロータリーの1業種1人の基本ルールはこの時代から。但し現代は緩んでいる。)を利用した物質的相互扶助によってグループでの事業の発展を図ったのも容易に想像がつきます。しかし、シェルドンは物質的な相互扶助(仲間うちの物質的な商売やり取り等)だけに頼らずに、継続的に利益を上げて事業を他に広く発展させるための企業経営の方法として、みんなに職業奉仕を説いたのです。要するに職業が繁栄していればそれは職業奉仕になるのだということです。当時の時代背景を考えれば、もしも職業奉仕を倫理や精神運動として進めたとしたら、誰も耳を貸そうとしなかったでしょう。商品や業務に対する知識、公平なアフターサービス、顧客が感じる満足感、こういったもの全てがサービスであり、サービスの良い企業には必ず顧客がリピーターとなって再三訪れたり、別の顧客を紹介してくれたりします。そして始めて継続的な繁栄が約束されるのです。結果として高い職業倫理を持った企業となり、これが職業奉仕の理念であり原点であると説いています。(まさに4つのテストの根底に流れている思想がここで形成されているのです。)

私が国鉄を辞めて商人の道に入った時、枕元にいつも置いて読んだ本は松下幸之助の「商人の心得」という本でした。本の中にあった事はまさにこの部分です。経営者の理想論ではなく現実論としてお客のため先を見て進める能力は企業発展の基礎となるのではないのでしょうか。

職業奉仕の理念が認識され、それを具体化するために作られたのが当時の道徳律です。業界が採用した道徳律の中で最も有名なのが、ガイ・ガンディカーが作ったレストラン協会の道徳律です。当時、若年労働者の深夜労働が当たり前だった時代に、現代の労働基準関係諸法や就業規則とまったく引けを取らないような規約を定め普及させました。1919年から1930年にかけての10年間(禁酒法が制定された期間と同期)がロータリーの職業奉仕が社会に大きな影響を及ぼした爛熟期と言えます。

1920年にアメリカに禁酒法が制定され(1920年～1933年)期を一にしてマフィアがシカゴで活動を開始します。当時、アルカポネはシカゴで一部支配でしたが、1929年マフィア同士の抗争、聖バレンタインデー虐殺事件で西と東のマフィアの争いを制し、シカゴの全域を制覇、1930年代にはシカゴのマフィアのトップに立ちます。前述のレストラン協会の道徳律は禁酒法の絡みで、マフィアのターゲットになったレストラン業界を防衛するためにガイ・ガンディカーが作ったものと言われています。そして、シカゴ・クラブは退役軍人のチャンバリン大佐をシカゴ市の防犯協会会長に就任させ、マフィアの息のかかった大量の保釈保証人を告発したり〔有名なTVドラマ(アンタタッチャブル)の台本にもなったと言われる〕ロータリアンを証人として出延させてボビー・フランク殺人事件を解決します。ロータリーは禁酒法に関連した貿易に関する他国法遵守、贈賄禁止、適正広告などの法制化運動にも大きく関与します。現在では当たり前になっている公正な広告も、当時のロータリアンの努力によって立法化されたものです。職業奉仕を前面に押し立てて、堂々とマフィアと対峙したロータリアンを世間の人々が喝采を送ったことはゆうに想像できます。ロータリアンであることに誇りを持ち行動した姿は、一般の人達もロータリアンを力よく感じ社会に貢献出来る事を望み宿望したわけで、ロータリーは大きな発展を遂げた訳であります。

このように職業奉仕の原点については、創立当時のシカゴを語らないと表すことは出来ませんが、現在は年代が変り、若干これとは考え方は変わってきていると思います。しかし、この職業奉仕の根底に流れる理念は変わらず、企業経営者として経営実務の原点に溶け込ませる努力はロータリアンの進む道なのではないでしょうか。ご清聴ありがとうございました。